



BUSINESS PLAN

TNKE 事業計画書

IT インフラ設計・構築・保守 ワンストップサービス

策定日：2026年6月 改訂日：2026年7月

開業日：2026年7月1日 代表者：竹林 一幸

事業概要と経営理念

屋号

TNKE

代表者

竹林 一幸

開業日

2026年7月1日



経営理念（ミッション）

「サーバーと利用者をネットワークで
安全・快適につなぎ、
ストレスのない社会インフラを
創造する」



3か年ビジョン

これまでのキャリアで培った信頼関係をベースに、
早期に外部パートナーとの協業体制を構築します。
公共・教育市場および民間企業のAzure移行案件を
柱とし、本格稼働から3年目（2029年）までに年商
2,000万円および安定的なストック収益基盤の確立
を目指します。

提供サービス

公共・教育分野で培った「止まらないインフラ」のノウハウを軸に、設計から保守までワンストップで提供します。



インフラ設計

ハイブリッド対応

お客様の要望やセキュリティ要件に合わせ、オンプレミス環境からMicrosoft Azureを中心としたクラウド環境、その双方を組み合わせたハイブリッド環境の最適設計を行います。



インフラ構築・移行

Windows / Linux 対応

Windowsサーバー、Linuxサーバーの新規構築、および老朽化したオンプレミス環境からAzure環境への安全なデータ移行を、業務影響を最小限に抑えて実施します。



保守・運用サポート

リモート・訪問対応

平日日中（9:00～18:00）のリモート・訪問保守を基本としつつ、お客様のビジネスモデルに合わせて柔軟にスポット対応できる体制を整えます。

強みと市場環境

TNKEの強み（差別化優位性）



公共・教育市場における豊富なインフラ整備実績

高いセキュリティ要件、厳格な納期、独特の業務フローへの理解が必要とされる現場での深い知見が最大の強みです。



長年培った業界内ネットワーク

これまでのキャリアを通じて築いてきた信頼関係を活かし、2027年からの本格稼働に向けて早期の安定稼働を目指します。

市場環境（追い風）



自治体のシステム標準化が進み、クラウド対応インフラの需要が拡大しています。



GIGAスクール構想の継続により、学校現場のICT化・ネットワーク強化ニーズが旺盛です。



オンプレミス環境の老朽化やコスト最適化を背景に、中小企業のAzure移行が加速しています。



設計から保守まで一貫対応できる技術者の需要は、今後も高まり続けると見込まれます。

人員・体制計画



開業～準備期間

2026年7月～12月

1名＋外部パートナー3名体制

2026年7月に開業し、代表1名に外部パートナー3名を迎えた体制でスタート。事業運営の基盤づくりの期間と位置づけ、本格的な事業活動は第1期から開始します。



第1期

**本格稼働1年目
2027年**

2名＋外部パートナー2名体制

これまでのキャリアで培った人脈や実績のある取引先からの委託業務を確実に遂行し、事業基盤を安定させます。



第2期～第3期

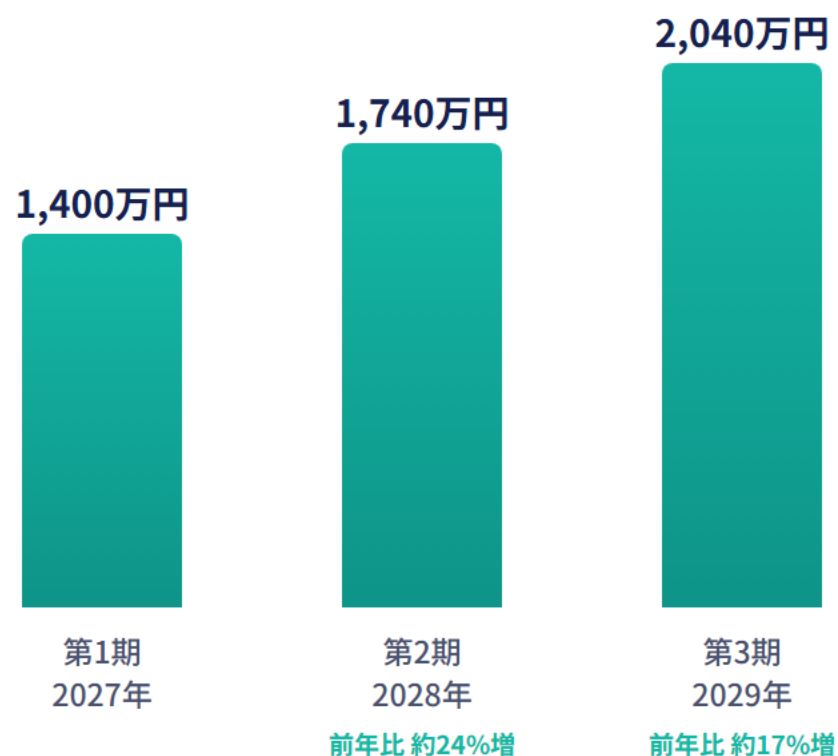
**本格稼働2～3年目
2028～2029年**

3名＋外部パートナー3名

案件の増加に伴い、外部のフリーランス技術者と「案件ごとの外注契約」を締結。代表が上流工程に集中し、固定費リスクを最小限に抑えます。

成長ロードマップ

売上高の推移（計画）



3年間の成長率
約1.4倍

第1期から第3期の3年間で売上高の成長を計画しており、目標である年商2,000万円の達成を第3期（2029年）の目標としています。第2期以降は月額保守契約の獲得を進め、スポット案件とストック収益の両輪で収益基盤を安定させます。外部パートナーとの協業体制も拡充し、固定費を抑えながら複数案件を同時並行で遂行できる体制を目指します。

まとめ

豊富な実績



公共・教育市場での豊富なインフラ整備実績を強みとし、2026年7月の開業を皮切りに2027年からの本格稼働を計画しています。

市場の追い風



Azure移行需要をはじめとする市場の追い風を背景に、事業拡大を計画しています。

信頼関係を活かした安定稼働



これまでのキャリアで培った業界内の信頼関係を活かし、2027年からの本格稼働に向けて早期の安定稼働を目指します。

年商2,000万円達成へ



3年目（2029年）までの年商2,000万円達成と、外部パートナーとの協業による安定的な事業基盤の確立を目指します。